



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社松屋フーズ 上場取引所 東
 コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緑川 源治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営開発本部長 (氏名) 鈴木 治夫 (TEL) 0422-38-1121
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	16,630	9.0	677	80.6	666	83.1	186	9.2
22年3月期第1四半期	15,252	0.4	375	4.1	364	2.7	171	51.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	9	80	-	-
22年3月期第1四半期	8	97	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	46,706		29,582		63.3	1,552	27	
22年3月期	47,852		29,625		61.9	1,554	48	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 29,582百万円 22年3月期 29,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
22年3月期	-		12	00	-		12	00	24	00
23年3月期	-									
23年3月期(予想)			12	00	-		12	00	24	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	32,220	5.6	1,060	19.9	1,010	18.6	350	0.3	18	36
通期	66,370	6.3	2,980	17.0	2,880	14.1	1,140	11.0	59	80

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 0 社（社名）、除外 0 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	19,063,968株	22年3月期	19,063,968株
23年3月期1Q	6,172株	22年3月期	6,126株
23年3月期1Q	19,057,808株	22年3月期1Q	19,058,260株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策の効果等により、緩やかな回復傾向にあるものの、個人所得の低迷や雇用環境の改善の遅れによる、景気の先行き不透明感が高まっております。外食業界におきましては、個人消費の低迷による市場規模縮小が進む中、業界内部における競争のみならず、中食業界のマーケット拡大等の業界を越えた競争激化に加え、食の安全・安心に対する消費者意識の一層の高まりから、各企業の取り組み姿勢が厳しく問われる状況へと変化し、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、直営の牛めし定食店4店舗、新業態として麺ダイニングセロリの花1店舗の合計5店舗を出店いたしました。一方で、直営店3店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第1四半期末の店舗数はFC店及び一時休業店を含め、793店舗（うちFC6店舗、海外5店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店755店舗、鮎業態11店舗、とんかつ業態20店舗、その他の業態7店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、19店舗の改装（全面改装2店舗、一部改装17店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「牛めし」の値引きキャンペーンを実施し、関西の2府4県（105店舗）においては、キャンペーン価格据え置きで「牛めし」を販売いたしました。また、化学調味料・人工甘味料・合成着色料・合成保存料を使用しない「牛めし」「フレッシュトマトカレー」「鶏めし」を販売し、価格面以外の訴求も実施してまいりました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店が前年比103.8%と前年を上回ったこと等により、前年同期比9%増の166億30百万円となりました。

売上原価につきましては、「牛めし」の値引き販売等により、原価率が前年同期の32.7%から33.6%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.8%から62.3%へ改善いたしました。この要因は、人件費の売上高に占める割合が、店舗における生産性向上の取り組みとアルバイト・パートの平均時給低下により、前年同期の34.1%から32.9%と改善し、売上高の向上により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の30.7%から29.4%と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているF Lコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.8%から66.5%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比80.6%増の6億77百万円、経常利益は同83.1%増の6億66百万円、当期純利益は同9.2%増の1億86百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は467億6百万円となり、前連結会計年度末比11億45百万円減少いたしました。このうち、流動資産は91億94百万円となり、現金及び預金が11億64百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末比13億25百万円減少いたしました。また、固定資産は375億11百万円となり、有形固定資産や店舗賃借仮勘定の増加等によって、前連結会計年度末比1億79百万円増加いたしました。

当第1四半期末における負債は171億23百万円となり、借入金・未払法人税・賞与引当金の減少等によって前連結会計年度末比11億3百万円減少いたしました。

当第1四半期末における純資産は295億82百万円となり、配当金支払い等によって前連結会計年度末比42百万円減少となりましたが、総資産の減少によって、自己資本比率は前連結会計年度末の61.9%から63.3%へと改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億63百万円減少し、29億68百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億35百万円(前年同期は5億94百万円の収入)となりました。

これは「減価償却費及びその他の償却費」5億75百万円や「税金等調整前四半期純利益」4億71百万円、「仕入債務の増減額」1億90百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」7億92百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億82百万円(前年同期は5億29百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」4億34百万円や「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」1億81百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億16百万円(前年同期は13億7百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」10億48百万円といった資金増加要因があった一方、「短期借入金の返済による支出」9億90百万円や「長期借入金の返済による支出」9億20百万円、「配当金の支払額」2億4百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画通りの水準で推移しており、平成22年5月10日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

(経過勘定項目の算定方法)

連結財務諸表等の作成に際しては、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、一部簡便な方法を採用しております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が13,684千円減少し、税金等調整前四半期純利益が188,708千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は437,068千円であります。

2. 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計基準に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

なお、これによる影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,173,070	7,337,943
受取手形及び売掛金	300,949	305,614
商品及び製品	309,910	232,495
原材料及び貯蔵品	1,420,034	1,399,573
繰延税金資産	239,610	474,729
その他	750,838	769,620
流動資産合計	9,194,414	10,519,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,218,210	11,078,854
機械装置及び運搬具(純額)	939,537	976,373
工具、器具及び備品(純額)	1,136,536	1,166,102
リース資産(純額)	101,185	91,291
土地	8,786,030	8,786,030
建設仮勘定	178,070	169,040
有形固定資産合計	22,359,572	22,267,694
無形固定資産		
ソフトウェア	135,730	150,023
その他	37,544	24,069
無形固定資産合計	173,275	174,092
投資その他の資産		
投資有価証券	207,689	207,705
敷金及び保証金	12,506,400	12,573,333
長期前払費用	498,021	503,156
店舗賃借仮勘定	207,523	102,142
繰延税金資産	668,176	615,941
投資不動産(純額)	641,805	646,553
その他	268,093	262,637
貸倒引当金	18,750	21,108
投資その他の資産合計	14,978,961	14,890,363
固定資産合計	37,511,809	37,332,149
資産合計	46,706,223	47,852,125

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,861,675	1,670,722
短期借入金	1,108,856	1,052,223
1年内返済予定の長期借入金	3,345,998	3,528,546
未払金	1,842,797	1,812,696
リース債務	23,779	20,491
未払法人税等	141,053	854,786
賞与引当金	417,178	810,376
役員賞与引当金	35,850	28,550
資産除去債務	724	-
その他	874,301	679,871
流動負債合計	9,652,216	10,458,265
固定負債		
長期借入金	6,197,313	6,934,964
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	79,518	72,246
資産除去債務	436,344	-
その他	175,874	179,446
固定負債合計	7,471,150	7,768,757
負債合計	17,123,367	18,227,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	15,986,498	16,028,488
自己株式	12,237	12,175
株主資本合計	29,593,337	29,635,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70	61
為替換算調整勘定	10,411	10,225
評価・換算差額等合計	10,481	10,286
純資産合計	29,582,856	29,625,103
負債純資産合計	46,706,223	47,852,125

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	15,252,460	16,630,506
売上原価	4,985,438	5,585,431
売上総利益	10,267,021	11,045,074
販売費及び一般管理費	9,891,639	10,367,309
営業利益	375,382	677,765
営業外収益		
受取利息	9,918	7,939
受取配当金	15	17
受取賃貸料	58,979	60,085
その他	29,564	26,955
営業外収益合計	98,478	94,997
営業外費用		
支払利息	49,290	42,096
賃貸費用	51,914	56,911
その他	8,462	6,990
営業外費用合計	109,667	105,998
経常利益	364,193	666,763
特別利益		
固定資産売却益	4,187	-
賞与引当金戻入額	7,296	1,897
貸倒引当金戻入額	3,842	2,358
会員権売却益	3,112	-
立退料収入	22,000	-
特別利益合計	40,438	4,255
特別損失		
固定資産除却損	4,726	17,079
店舗閉鎖損失	10,267	3,841
固定資産売却損	-	164
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	178,254
特別損失合計	14,994	199,339
税金等調整前四半期純利益	389,636	471,679
法人税、住民税及び事業税	72,088	102,084
法人税等調整額	146,541	182,890
法人税等合計	218,630	284,975
少数株主損益調整前四半期純利益	-	186,703
四半期純利益	171,006	186,703

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	389,636	471,679
減価償却費及びその他の償却費	573,888	575,912
賞与引当金の増減額(は減少)	378,496	393,198
受取利息及び受取配当金	9,933	7,956
支払利息	49,290	42,096
有形固定資産除売却損益(は益)	539	17,243
店舗閉鎖損失	10,097	3,604
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	178,254
建設仮勘定及び店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	78,265	85,555
売上債権の増減額(は増加)	14,722	4,656
たな卸資産の増減額(は増加)	156,376	100,854
仕入債務の増減額(は減少)	81,215	190,913
未払消費税等の増減額(は減少)	215,006	51,200
その他	222,943	209,317
小計	1,374,106	1,328,424
法人税等の支払額	779,172	792,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	594,934	535,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	361,778	434,271
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	205,821	181,983
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	45,903	66,518
利息及び配当金の受取額	558	111
その他	8,840	33,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	529,978	582,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	1,048,065
短期借入金の返済による支出	53,437	990,690
長期借入金の返済による支出	1,000,535	920,199
リース債務の返済による支出	-	6,583
自己株式の取得による支出	514	62
利息の支払額	49,273	42,226
配当金の支払額	203,822	204,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,307,582	1,116,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,254	111
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,239,372	1,163,693
現金及び現金同等物の期首残高	3,699,918	4,131,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,460,546	2,968,070

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月23日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において利益剰余金が228,694千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	228,694	12	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は、直営店で最終消費者へ牛めし、定食等を直接販売する方法(直営販売形態)及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品等の販売を通じて、最終消費者へ牛めし・定食を販売する方法(外部販売形態)による単一業態での事業を営んでおり、事業の種類別生産実績及び事業の種類別販売実績を把握していません。

このため、生産実績及び販売実績の記載は、形態別に基づく実績によっております。

1. 生産実績

当社は、セントラルキッチン方式により嵐山工場及び富士山工場にて単一食材(主に、肉類、米類、野菜類、タレ・ソース類)を加工し店舗へ供給する単一業態による生産を行っております。

当社の形態別販売実績合計に対する生産実績は、次のとおりであります。

形態別	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年6月30日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
肉類	1,547,467	118.3
米類	1,164,593	116.7
タレ・ソース類	724,473	122.2
野菜類	477,584	108.8
その他	121,238	71.9
合計	4,035,358	115.1

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注状況

当社グループは、受注活動を行っていないため、該当事項はありません。

3. 販売実績

当社グループは、直営店で最終消費者へ牛めし・定食等を直接販売する方法及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品の販売を通じて、最終消費者へ牛めし・定食等を販売する方法をとっております。

このように当社グループは、単一業態で事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報を記載することが困難なため形態別販売実績を記載しております。

(形態別販売実績)

形態別	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)
直営店売上		
牛めし定食事業	15,607,384	93.8
とんかつ事業	364,083	2.2
鮓事業	241,386	1.5
その他	40,689	0.2
小計	16,253,544	97.7
外部販売売上		
食材売上	194,937	1.2
子会社売上	164,680	1.0
ロイヤルティ等収益	17,343	0.1
小計	376,961	2.3
合計	16,630,506	100.0

(注)1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 子会社売上の内訳

㈱エム・ティ・ティ(修繕・メンテナンス売上等)	50,613千円
㈱エム・エル・エス(クリンリネス事業売上等)	10,201千円
Matsuya Foods USA, Inc.(飲食事業売上)	103,865千円